

1 1 9 番通報訓練方法（例）

【事前準備】

- 1 建物関係者間で「消防役」と「通報者役」の役割分担を決める。
- 2 「消防役」と「通報者役」の間で口頭により 1 1 9 番のやり取りを行う。

【通報例】

消 防：「1 1 9 番消防です 火事ですか。救急ですか。」

通報者：「火事です。」

消 防：「消防車が向かう住所（場所）と建物の名前を教えてください。」

通報者：「住所（場所）は、山口市●●、●●（建物名称）です。」

消 防：「何階建ての建物で、どこから火がでていますか。

何が燃えていますか。」

通報者：「●階建てです。●階の●●から火がでています。」

消 防：「初期消火は実施しましたか。」

通報者：「はい。／いいえ。／現在実施中です。／失敗しました。」

消 防：「避難場所はどこですか。」

通報者：「●●です。」

消 防：「ケガ人や逃げ遅れた人はいますか。」

通報者：「いません。／ケガ人が●名います。／●名と連絡がとれません。
／わかりません。」

消 防：「あなたの名前と電話番号を教えてください。」

通報者：「名前は●●です。電話番号は●●です。」

消 防：「新しい情報があればまた 1 1 9 番してください。」

～ 1 1 9 番通報のポイント～

災害の種別（火災／救急）、発生場所（消防車等が向かう住所）が確定すれば、管轄する消防署所に出動指令が入ります。通報の途中でも消防車両は向かっていますので、落ち着いて、把握している内容を消防職員に伝えてください。